

NY マーケットレポート (2016年9月1日)

NY 市場では、米国の年内利上げ期待の高まりが意識されて、東京市場から続いたドル買い・円売りの流れを引き継ぎ、堅調な展開で始まった。そして、序盤に発表された失業保険申請件数が予想より良い内容となったことや、2Q 米非農業部門労働生産性で、賃金の指標である単位労働コストが2015年10-12月期以来の高水準となったことが好感され、ドル円・クロス円は一段の上昇となった。特に、ドル/円は104円台まで上昇し、7月29日以来の高値を付ける動きとなった。しかし、その後に発表された米ISM製造業景況指数が、6ヵ月ぶりに製造業の景気判断の基準となる50を下回ったことが嫌気され、ドル売り・円買いが優勢となり、ドル円・クロス円は下落に転じた。ただ、下落した株価がプラス圏まで値を戻す動きとなったことを受けて、クロス円は値を戻す動きとなったが、ドル/円は上値の重い動きが続いた。

2016年9月1日 (木)

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	103.22	104.01	103.13
EUR/JPY	115.59	115.82	115.43
GBP/JPY	136.96	138.03	136.90
AUD/JPY	77.94	78.15	77.82
NZD/JPY	75.20	75.41	75.14
EUR/USD	1.1200	1.1206	1.1131
AUD/USD	0.7551	0.7559	0.7505

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18419.30	+18.42
S&P500	2170.86	-0.09
NASDAQ	5227.21	+13.99
日経225 (CME)	16955	+45
トロント総合	14683.91	+85.96
ボルサ指数	47563.34	+22.02
ボベスパ指数	58236.27	+335.16

9/2 経済指標スケジュール

08:50	【日本】8月マネタリーベース
14:00	【日本】8月消費者態度指数
16:30	【スウェーデン】2Q経常収支
17:00	【ノルウェー】8月失業率
17:30	【英国】8月建設業PMI
18:00	【欧州】7月生産者物価指数
21:30	【米国】8月失業率
21:30	【米国】8月非農業部門雇用者数
21:30	【米国】8月平均時給
21:30	【米国】7月貿易収支
21:30	【カナダ】7月国際商品貿易
21:30	【カナダ】2Q労働生産率
22:00	【シンガポール】8月購買部景気指数
22:45	【米国】8月ISMニューヨーク
23:00	【米国】7月製造業受注指数
23:00	【米国】7月耐久財受注

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1317.10	+5.70
NY 原油	43.16	-1.54
CMEコーン	323.75	+8.25
CBOT 大豆	943.75	+0.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.78%	0.81%
3年債	0.90%	0.92%
5年債	1.18%	1.19%
7年債	1.43%	1.45%
10年債	1.57%	1.58%
30年債	2.23%	2.23%

9/2 主要会議・講演・その他予定

出所：SBILM

NY 市場レポート

< 経済指標の結果 >

米新規失業保険申請件数 26.3万件 (予想 26.5万件・前回 26.1万件)

米失業保険継続受給者数 215.9万人 (予想 214.5万人・前回 214.5万人)

＜新規失業保険申請件数・継続受給者数＞

	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
16/08/27	263,000	+2,000	263,000	*****	*****
16/08/20	261,000	-1,000	264,000	2,159,000	-1.6%
16/08/13	262,000	-4,000	265,250	2,145,000	-1.6%
16/08/06	266,000	-1,000	262,750	2,175,000	-1.6%
16/07/30	267,000	+1,000	259,750	2,160,000	-1.6%
16/07/23	266,000	+14,000	256,500	2,141,000	-1.6%
16/07/16	252,000	-2,000	257,500	2,144,000	-1.6%
16/07/09	254,000	0	259,000	2,132,000	-1.5%
16/07/02	254,000	-16,000	264,750	2,153,000	-1.6%
16/06/25	270,000	+12,000	267,250	2,117,000	-1.5%
16/06/18	258,000	-19,000	266,750	2,168,000	-1.6%
16/06/11	277,000	+13,000	269,250	2,139,000	-1.6%
16/06/04	264,000	-4,000	269,500	2,162,000	-1.6%

受給者数は集計が1週間遅れる

米失業保険申請件数は、前週比+0.2万件的26.3万件となり、4週ぶりのプラスとなった。節目となる30万件を78週連続で下回った。申請件数の4週移動平均は、前週比-0.1万件的26.3万件。また、集計が1週間遅れる失業保険受給者総数は、前週比+1.4万人の215.9万人となった。受給者総数の4週移動平均は、前週比+4500人の215万9750人となり、5月21日までの週以来の高水準となった。受給者比率は、前週比横ばいの1.6%だった。

＜ 経済指標の結果 ＞

2Q 非農業部門労働生産性（前期比年率） -0.6%（予想 -0.6%・前回 -0.5%）

＜非農業部門労働生産性指数＞

	4-6	1-3	10-12	7-9	4-6
非農業部門労働生産性指数	-0.6	-0.6	-2.4	2.0	1.2
生産	1.1	0.7	0.8	1.8	3.1
労働総投入量	1.7	1.4	3.3	-0.2	1.9
時間あたり給与	3.7	-0.9	3.1	2.9	4.8
実質給与	1.1	-0.6	2.3	1.5	2.2
単位あたり労働コスト	4.3	-0.3	5.7	0.8	3.6
単位あたり非労働コスト	-0.4	2.1	-6.2	1.1	-0.1
価格指数	2.3	0.7	0.5	1.0	2.0

（前期比、年率%）

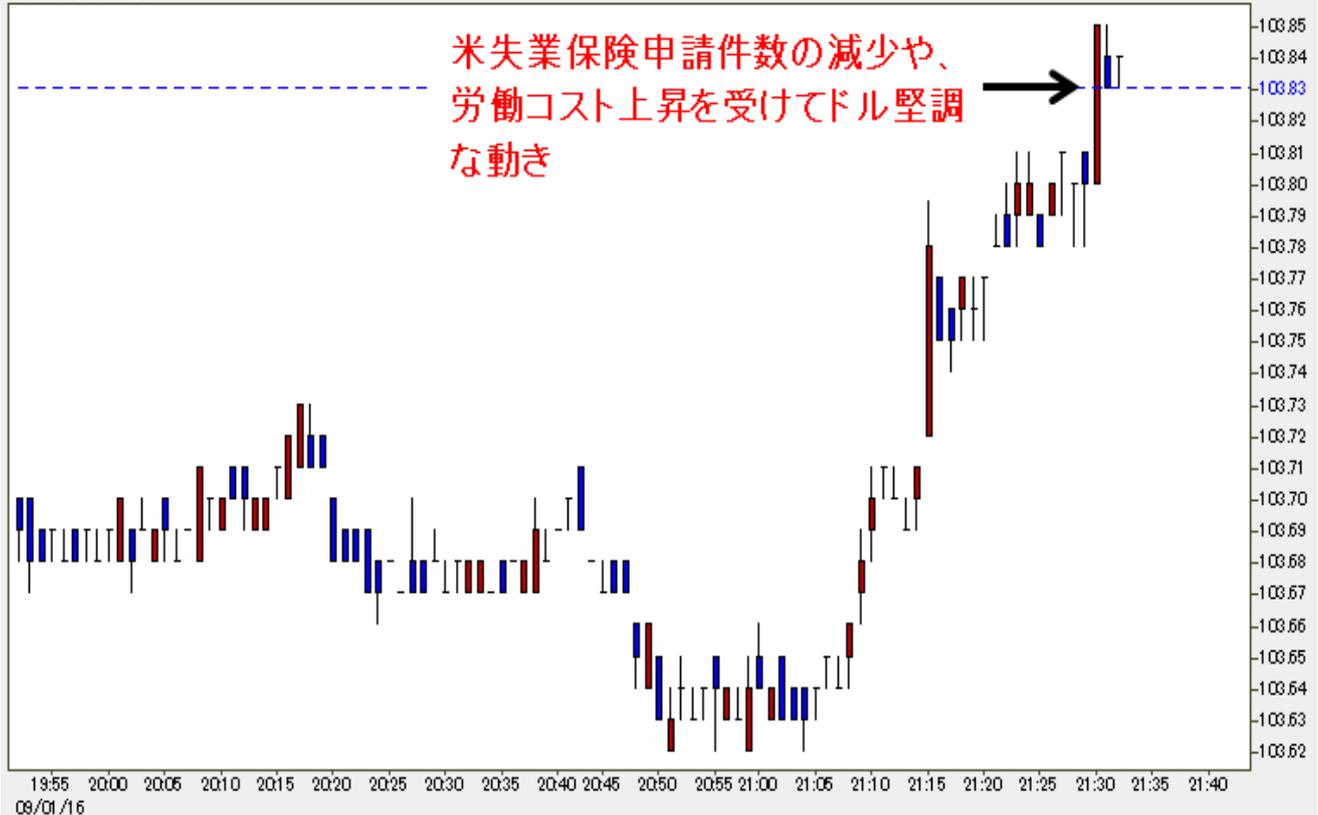
米4-6月期の非農業部門労働生産性確定値は、年率換算で前期比-0.6%となり、速報値から0.1ポイント下方修正され、3四半期連続のマイナスとなった。労働時間の伸びが生産の増加を上回り、生産性が低下したことが影響した。

①賃金の指標である単位労働コストは、前期比+4.3%となり、速報値の2.0%から上方修正され、2四半期ぶりのプラスとなり、2015年10-12月期以来の高水準。労働生産性では、生産が+1.1%、労働時間が+1.7%。

②時間当たりの給与は、名目ベースで前期比+3.7%と2四半期ぶりのプラスで2015年4-6月期以来の高水準だった。物価動向を考慮した実質ベースでは+1.1%となった。

③製造業の生産性は-0.4%となり、生産が-0.8%、労働時間が-0.4%。

米ドル円, 1分足, #100



出所 : Net Dania

◀ 経済指標の結果 ▶

7月メキシコ景気先行指数 (前月比) 0.01% (前回 -0.03%)

◀ 経済指標の結果 ▶

BIS 報告～世界の通貨取引高、1日当たり 5.1 兆ドルに減少

◀ 経済指標の結果 ▶

8月米 ISM 製造業景況指数 49.4 (予想 52.0・前回 52.6)

◀ 米 ISM 製造業景況指数 ▶

	8月	7月	6月	5月	4月	3月
景気	49.4	52.6	53.2	51.3	50.8	51.8
価格	53.0	55.0	60.5	63.5	59.0	51.5
生産	49.6	55.4	54.7	52.6	54.2	55.3
新規受注	49.1	56.9	57.0	55.7	55.8	58.3
受注残	45.5	48.0	52.5	47.0	50.5	51.0
入荷遅延	50.9	51.8	55.4	54.1	49.1	50.2
在庫	49.0	49.5	48.6	45.0	45.5	47.0
雇用	48.3	49.4	50.4	49.2	49.2	48.1

8月米 ISM 製造業景況指数は、市場予想を下回り、6ヵ月ぶりに製造業の景気判断の基準となる 50 を下回る結果となった。新規受注や

生産が落ち込み、製造業に対する懸念が再燃した。関連指数では、仕入れ価格が 53.0 (55.0)、生産が 49.6 (55.4)、新規受注が 49.1 (56.9)、受注残が 45.5 (48.0)、入荷遅延が 50.9 (51.8)、在庫が 49.0 (49.5)、顧客在庫が 49.5 (51.0)、雇用が 48.3 (49.4) と大半の指数が前月から低下となった。特に、新規受注と雇用指数は 2 ヶ月連続の低下となった。18 業種のうち 11 業種が縮小と回答し、拡大したと回答したのは 6 業種だった。



＜8月米自動車販売＞

フィアット・クライスラーは+3.0% (予想+5.0%)
 フォードは-8.8% (予想-8.2%)
 GMは-5.2% (予想-4.9%)
 VWは-9.1%

トヨタは-5.0% (予想-0.4%)
 日産は-6.5% (予想-0.6%)
 ホンダは-3.8% (予想+1.0%)

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、序盤から堅調な動きとなったが、米国の製造業景況指数が低調で米経済の先行きに不透明感が広がったことから売りが優勢となった。また、原油価格が下落したことも市場心理を冷やし、英 FT100 指数はポンド高ドル安が進んだことも嫌気された。



出所：Bloomberg

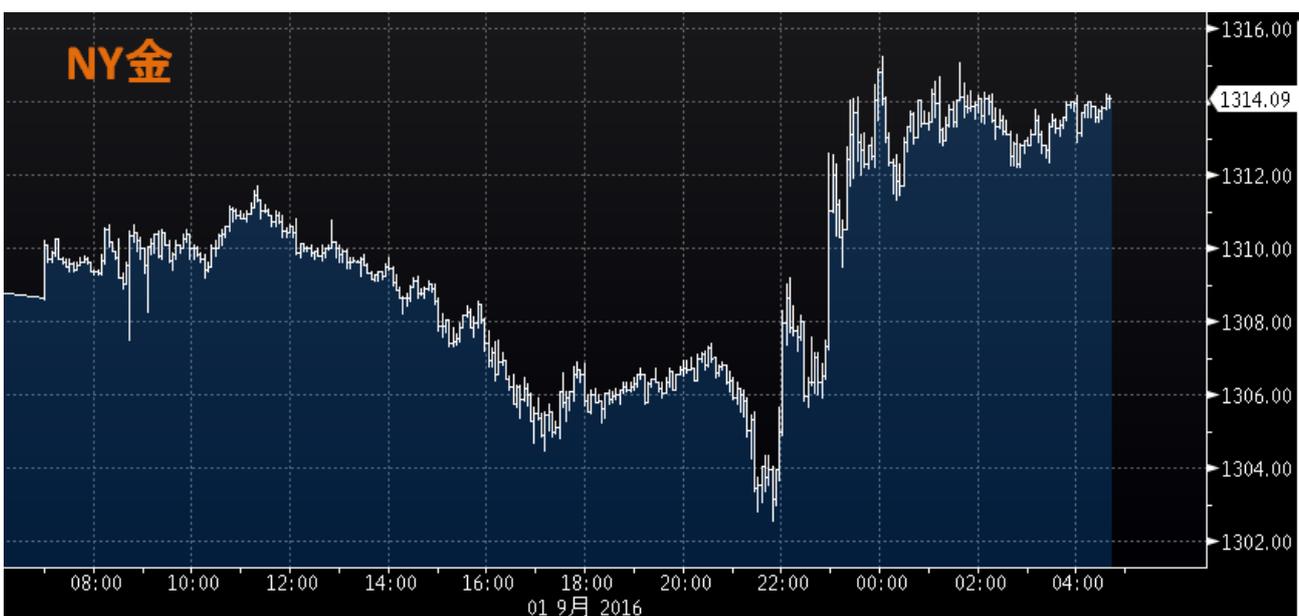
◀ 要人発言 ▶

メスター・クリーブランド連銀総裁

- ・「米経済は大きく前進した」
- ・「FOMCの緩和政策が米経済を支えた」
- ・「金融当局は金融安定へのリスクを真剣にとらえる必要」
- ・「緩やかな利上げペースは、自身の見通しと整合する」
- ・「緩やかな利上げはかなり説得力がある」

◀ NY金市場 ▶

NY金は、製造業関連の米経済指標が市場予想を大幅に下回ったことを手掛かりに米景気の先行き不透明感が広がり、買われる結果となった。また、ドルが主要通貨に対して下落したことも、支援材料となった。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、前日の米原油在庫の増加が引き続き材料視され、供給過剰懸念から売りが加速した。また、米製造業関連の指数の悪化も投資家心理を冷やした。



出所：Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、堅調な欧州主要株価の動きを好感した買いが先行したものの、米製造業関連の指標が悪化したことを受けて、売りが優勢となった。その後は下げ幅を縮小する動きとなり、プラス圏まで反発した。ダウ平均株価は、序盤 29 ドル高まで上昇したが、その後は 105 ドル安まで下落。終盤にかけてはプラス圏まで上昇する動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤の米雇用関連の経済指標がまずまずの結果となり、ドル円・クロス円は堅調な動きが続いた。しかし、米製造業関連の指標の悪化を受けて、円買い戻しの動きが強まり、ドル円・クロス円は下落に転じた。その後は、値を戻す動きが見られたものの、上値の重い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。